

山行部主催セミナーについて

山行部が主催しているセミナーは、3つあります。

1. 「岩(ロッククライミング)セミナー」
2. 「沢セミナー」
3. 「雪山セミナー」

これらを実施していくために、講師を務める山行部員は、セミナー受講生の登山技術取得・向上の為に、多くの時間と労力を割いています。このことを、予めご承知ください。

セミナーで使用する装備について、受講生自身で購入することをお願いしています。なぜなら、セミナーを修了した後も継続して続けてほしいと、願っているからです。各セミナーの修了は、当該山行形態の技術を取得したということの意味しません。入口(登山口)に立てたという意味になります。その後、何年も継続し、研鑽することでやっとその技術をある程度取得することができます。

登山技術は奥深く、突き詰めればいくらでも学び、経験を積まなければならないことが山のようにあります。技術が上がれば、さらにチャレンジングな山に挑戦しようとしています。リスクも高くなるため、またさらに技術を磨き、実地経験を積んでいかなければ安全を確保することができません。

山行部に入ると、セミナーにばかり駆り出されて自分の行きたい山に行けない、との話しがなされていると聞きます。確かに、ある部分ではその現状はあります。ただ、自分の技術向上のためには、人に教えるという行為はとても重要なステップであり、自分の知識を深めていくことができます。登山技術習得の初期段階の数年間において、講師として受講生に教えていくということは、とても重要となるステップなのです。セミナーを修了し、あ～楽しかったな、で終わってはほしくはないのです。

修了後にも訓練を継続しなければ、セミナーで得た技術や知識は短期間で失われます。山行部員の時間と労力の結晶である受講生が、次のステージで活躍する姿を楽しみにしています。修了した受講生が準講師としてセミナーに携わり、その後、正講師としてセミナーの中核を担ってほしいと願っています。この循環ができなければ、西宮山岳会山行部のセミナーを継続することは難しくなります。

セミナー中に事故が起こった場合、事故を起こした山岳会全体に大きな影響を及ぼすことが多々あります。そのため、リスクを伴う山行部セミナーの受講生の受け入れについては、安全を確保できる定員数に限らせていただいています。希望者が多い場合、大変心苦しいのですが、次回のセミナー開校までお待ちいただきたいと思います。

登山の領域を広げ、安全に山行ができる自立した登山者となるため、山行部セミナーの趣旨をご理解いただいた上で、セミナーをぜひご受講いただきたいと思います。

以上